

# ブックインとっとり 2021

地方出版文化功労賞・全国各地の本

## 第34回 地方出版文化功労賞受賞作発表

第35回 全国各地の本展

地方出版文化功労賞 募集要項

2021年8月2日

ブックインとっとり 実行委員会

審査員長 齋藤 明彦

実行委員長 中川 玄洋

事務局 五丁泰次郎

事務局連絡先 米子市新開2-3-10 本の学校 郁文塾

電話 0859-31-5001 Fax 0859-31-9231

### 第34回 地方出版文化功労賞 受賞作

第34回地方出版文化功労賞は、本年7月11日の最終審査会において決定した。同賞は、昨年10月28日から11月4日、米子市立図書館で開かれた「ブックインとっとり2020」に出品展示された全国の地方出版物（対象約250点）の中から、各地区の推薦委員および一般の来場者による会場での投票によりその中の10点を最終候補作として挙げ、8名の審査員が持ち回りで数カ月をわたって審査したものである。

結果は以下のとおりです。

#### 第34回 地方出版文化功労賞

書名 『くまもとの戦争遺産 ー戦後75年 平和を祈ってー』

著者 高谷 和生（たかたに かずお）

発行所 熊日出版（熊本県）

熊本県 熊本市中央区世安町 172 電話 096-361-3274

発行者 高谷和生（くまもと戦争遺跡・戦争遺産ネットワーク代表）

体 裁 276頁 定価 2,300円+税

発 行 2020年8月15日刊行

#### 著者略歴

高谷 和生（たかたに かずお）氏

1954年熊本県玉名市生まれ。別府大学文学部史学科考古学専攻課程卒業。熊本県教育庁文化課にて埋蔵文化財発掘調査等を担当。主な文化財調査報告書として熊本県では『下山西遺跡』『柳町遺跡Ⅰ』等を、苓北町では『内田皿山窯跡』の報告がある。

その後は近代化遺産・近現代遺跡の報告として『子どもと歩く熊本の戦争遺跡 県北編・県南編』『熊本の戦争遺跡』『熊本の近代化遺産 県央編・県北県南編』を分筆。あさぎり町『陸軍人吉秘匿飛行場』では県内初の戦争遺跡調査報告を担当する。

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク代表。戦争遺跡保存全国ネットワーク全国運営委員。空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会世話人。肥後考古学会幹事。ピースくまもと設立準備事務局会事務局長。

#### <選考理由>

『くまもとの戦争遺産 ー戦後75年 平和を祈ってー』

熊本県内の戦争に関する物事を網羅的に調査した報告書である。

県内の戦争遺産を軍都熊本市内の諸遺構、旧陸海軍飛行場、本土決戦施設、軍工場・軍需工場、さらに奉安殿や慰霊碑、空襲・航空資料などに分類網羅している。主な遺構については様々な資料に基づき施設の建設から戦後今日に至るまでの経緯が記載されている。

現存しない捕虜収容所にも捕虜や市民の言葉とともに言及している点は特筆すべき点であ

る。

この本の優れた点は①網羅され、整理された形で提示されていること。②図面や写真などを多用して、読む物の理解を助けている。また、平易な文章で綴られていてわかりやすい。③主な遺構について成立から現在までの経緯が記載されていること。④アメリカ公文書はじめ様々な資料を、手を尽くして収集していること。があげられる。

また、巻末のガイドマップ、戦争遺産一覧などはこれから学ぼうとする者にとって良き案内となるだろう。

膨大な時間と労力を費やし、考古学の視点・方法論によりまとめられた本書は、将来にわたり戦争を語り継ぐ上での大きな財産である。

# ブックインとっとり 2021

## 並びに第 35 回地方出版文化功労賞 要項

(2021. 7. 31 現在)

### 1. 趣旨

地方文化のバロメーターのひとつとも言われる、地方での出版活動の重要性に目を向け、ブックインとっとり実行委員会では、1987年鳥取県で開催されたブックインとっとり‘87「日本の出版文化展」いわゆる「本の国体」を機に「ブックインとっとり・地方出版文化功労賞」を制定した。以来34年に亘って、地方と地方そして人と文化の交流を積み重ねてきた。その結果今日では、地方出版への激励や奨励として貢献してきたことが全国から高く評価されている。

毎年の事業として、その年の各県の代表的な地方出版物を一堂に集めて展示する「ブックインとっとり・全国各地の本展」と、地方の出版活動のご苦勞に対して鳥取県民が選びそして贈る『地方出版文化功労賞』がある。

### 2. 主催 ブックインとっとり実行委員会（実行委員長 中川玄洋）

共催 鳥取県図書館協会・鳥取県立図書館・鳥取県書店商業組合

後援 鳥取県、鳥取市、倉吉市、米子市、境港市、鳥取市教育委員会、倉吉市教育委員会、米子市教育委員会、境港市教育委員会、鳥取県公共図書館協議会、鳥取県学校図書館協議会、日本図書館協会、読書推進運動協議会、全国学校図書館協議会、地方・小出版流通センター、鳥取県教育文化振興会 ほか  
(順不同)

### 3. 募集

- ・ 報道各社及び各県地方紙の呼びかけと、各県図書館の協力を得て各県教科書特約供給所（教販）および、地方・小出版流通センターを経由し、各県何点でも主催者に開催会期までの10月上旬頃には届ける
- ・ 著者・出版社からの直接応募も可

### 4. 応募条件

2020年10月1日～2021年9月30日までに出版されたもの

- ・ 官公庁出版物は除く
- ・ 著者は鳥取県を除く
- ・ 発行者は各都道府県内であるもの（鳥取県・東京都23区に所在地のあるものを除く）
- ・ 雑誌、新聞等を除く

- ・ 展示及び一次審査のため、翌年1月末まで委託出品（展示終了後返品）主催者までの送品運賃のご負担をお願い致します。尚、送っていただいた作品は返却せず、展示等に活用させていただきますのであらかじめご了承ください。

最終審査に残った作品に関しては、1作品につき2点を実行委員会へ寄贈していただくことがありますのであらかじめご了承ください。（審査終了後、図書館等へ寄贈させていただきます）

## 5. 開催期間、会場および出品作品について

読書週間前後（10月中旬～11月）に鳥取県内において、展示会を開催

- ・ 展示期間・会場

期間 2021年11月2日～11月8日（予定）（会場開館時間内）

会場 鳥取県立図書館

- ・ 第34回 地方出版文化功労賞表彰式および受賞記念スピーチ

会場 鳥取県立図書館（予定）

2021年11月6日（土）（予定）

※新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して開催方法は判断

- ・ 出品作品（予定）

全国各地の本（2020年10月～2021年9月刊行のものを 約250点）

山陰の本（同上 鳥取、島根の本 約100点）

第34回地方出版文化功労賞 受賞作および最終審査ノミネート作（10点）

## 6. 選考について

基準 ①地方で出版されたもの

②作品として優秀であること

③同じレベルの場合は地方色があるほうがよい

方法 鳥取県内展示期間中会場に於ける鳥取県民の投票

各地区（5名以内）の推薦委員による投票

鳥取県内審査委員9名による審査会によって最終決定

## 7. 審査員

審査員長 齋藤 明彦（元鳥取県立図書館長）

岩田 直樹（鳥取県立高等学校長） 上田 京子（鳥取短期大学講師）

小林 隆志（鳥取県立図書館長） 村上 博美（鳥取県立図書館司書）

山脇 幸人（元倉吉市立図書館長） 岡本 圭司（鳥取県職員）

岡村 知子（鳥取大学准教授） 松井 潔（元鳥取県埋蔵文化財センター室長）

8. 発表

翌年 7 月 新年度の募集と合わせ発表

9. 表彰

翌年、読書週間中に受賞出版物の著者を鳥取県に招待、表彰式を行う

地方出版文化功労賞 賞状、盾（鳥取県知事） 副賞 10 万円

奨励賞 賞状、盾

特別賞 賞状 盾

10. 行事

- ・受賞者の記念講演会
- ・その他

～\*～ 作品の送付についてのお問合せ先 ～\*～

〒683-0811 鳥取県米子市錦町 3-77-3 鳥取県教科図書販売（株）内  
ブックインとっとり実行委員会事務局 担当 小谷・坪倉  
TEL：0859-32-1551 FAX：0859-31-2047

～\*～ その他のお問合せ先 ～\*～

〒683-0801 鳥取県米子市新開 2-3-10 本の学校郁文塾内  
ブックインとっとり実行委員会事務局 担当 五丁  
TEL:0859-31-5001 FAX:0859-31-9231